



発行責任者
隠岐広域連立立
隠岐病院長
西郷町城北町 355

年頭にあたって



隠岐病院院長

小出 博己
ひろみ

昨年五月一日に待望の新病院が開院し既に九ヶ月が経過しました。診察室や検査室の構成に關連して動線や各科での受け付けの方法等も変わり、受診される皆様には戸惑われる方が想定されたため、ボランティアの方々による案内の応援をいただき対応していただきましたが、慣れていただきましたでしょうか。

新病院では療養環境の改善、屋上へリポートの運用開始による緊急搬送の充実、医療機器の更新による検査・診断機能向上が図ら

れ、また新病院とともに電子カルテも稼働し、医療情報の効率運用が可能となりました。更に新病院では予防医療の充実を目指して健診機能の強化を図るため健診コーナーを設けました。少子高齢化が進行する中、他の医療機関および保健・福祉・介護施設との連携の強化のため地域連携室も充実させました。

このようにハード的な面は整備が進みましたが、隠岐地域の中核病院として十分に機能する

ためには、医師や看護師をはじめ医療関連職の継続的な確保が課題であります。医師に關しては、島根県や大学病院から多くの診療科で応援をいただいておりますが、医師不足が叫ばれる中、十分な応援回数や診療時間のとれない診療科もあるのが現状です。限りあるマンパワーのなか院内協力体制やチーム医療の推進で何とか対応しているところでありますが、過重労働となる医師の負担軽減も考慮しなくてはならない状況をご理解いただきたく思います。引き続きマンパワーの確保に努力するつもりでありますが、人材確保には、医師・看護

師等に選ばれる魅力ある病院作りに取り組む必要があります。そのためには、島民の皆様が隠岐病院を育ててゆくという意識を持つていただき、ご意見とともにご支援いただくことも必須であると考えますので、何卒よろしくお願いいたします。

最後に、旧病院の解体工事は終わりましたが、まだ駐車場の整備が完了しておらず、新病院建設開始時から通院にご不便をおかけしておりますことをご詫びいたします。今しばらくご理解ご協力をお願いいたします。

安全は名前から

「お名まえを
ありがとうございます」

ご来院の患者さまへ

当院にはたくさんの患者さまがいらっしゃいます。

私たち職員は、皆さまに安心安全の医療を提供するため、お名まえの確認に徹底的に取り組んでおります。

お名まえを何度もお聞きしますが、ご本人に名字・名前を言っていたくことでも助かります。

ご理解と、ご協力をお願いいたします。



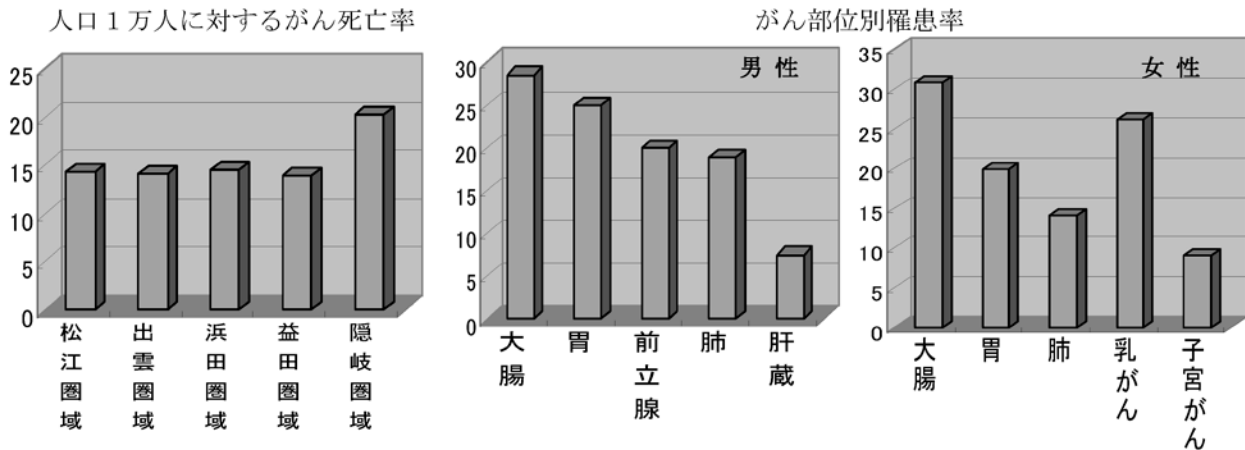
隠岐病院 医療安全管理者

受けよう健康診断・がん検診シリーズ（3）

☆ “がん” は あなたの身近な問題です

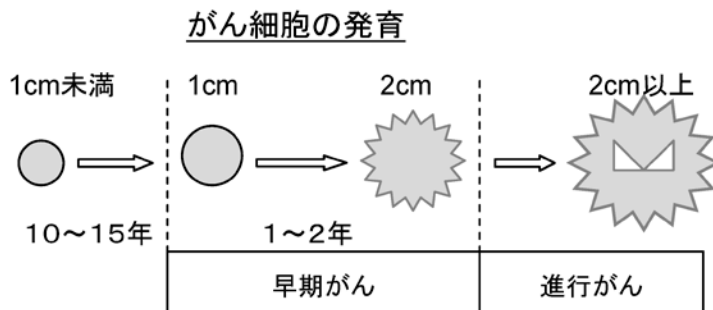
～ どれくらいの方が “がん” で亡くなっているか ～

島根県で平成 22 年に “がん” で亡くなられた方は、2, 4 8 8 人で死亡原因の第 1 位を占めます。人口 1 万人に対するがん死亡率で比較すると、島根県内では隠岐圏域が高い数値となっており、身近に起こっている問題です。島根県では男女ともに大腸がんが多いです



☆ “がん” は 早期に見つけると治せる病気です

～ “がん” を早期に発見する切り札は “がん検診” です～



がん細胞の一生は約 20 年、がん細胞が約 1 cm になるには 30 回の分裂が必要で、10 年～15 年かかります。1 cm のがん細胞が 2 cm になるには 1 年～2 年を必要とします。この時期が早期がんで、この時期に発見し治療すれば “がん” は治ります。

“がん” はがん細胞が 1 cm～2 cm になる早期がんの時期に発見する事が重要になります。しかし、この時期は症状もなく、血液検査や触診でがんを発見することはかなり難しいです。

1 cm～2 cm のがんを早期に発見するには、それぞれの部位の “がん” の発見だけに的を絞った専門の検査をする “がん検診” を受ける事が最善の方法です。

“がん検診” は早期発見の切り札です。1 年～2 年に 1 回定期的に “がん検診” を受けましょう。

☆ がん検診の種類（隠岐の島町）

がん検診種類	対象年齢	回数	検査内容	町助成制度	隠岐病院での受診
肺がん検診	40 歳以上	年 1 回	胸部 X 線検査	有り	可能
胸部 CT 検診	20 歳以上	年 1 回	胸部 CT 検査	有り	可能
乳がん検診	30 歳以上	2 年 1 回	マンモグラフィー	有り	可能
子宮頸がん検診	20 歳以上	年 1 回	子宮頸部細胞診	有り	可能
大腸がん検診	40 歳以上	年 1 回	便潜血検査	有り	可能

隠岐病院では、ドックや健康診断と一緒に、がん検診を受ける事も可能です。隠岐の島町役場が助成するクーポン券もご利用できます。



みなさんこんにちは。春の訪れが待ち遠しい毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

新病院開院と共にスタートした私たちの活動も、すでに九ヶ月目に入りました。皆さんにはお声をかけていただいたり、お礼の言葉をいただくこともありました。皆さんからの温かいお言葉は、私たちの活動の大きな励みになっています。ありがとうございます。

さて、私たちは、ボランティア活動を充実させるために、県や隠岐の島町社協から補助金をいただき、医療を守る他地域のボランティアグループとの交流や研修会、病院祭の視察も行いました。今回は、昨年十月に出雲市で開催された「島根の地域医療を守り・育てる住民活動ワークショップ」の様子をお知らせ致します。

このワークショップは、県・大学支援学講座・地域医療支援コーディネータ連絡会の主催で、医療機関、行政、住民活動

団体等約八十名が集まり、隠岐からは、当会と離島・隠岐の医療を守る会、島前病院ボランティアの会、それに病院・行政関係者の計十名が参加しました。

ワークショップでは、まず、宮崎県延岡市の住民活動代表から、医師不足の危機的状況の中で、住民や医療機関・行政・メディアの四者が一体となって地域の医療を守る市民条例を作った経緯についての講演があり、次に、雲南市と益田市から住民活動の事例報告がありました。その後、住民や医療機関・行政関係者の三者が同じテーブルについて、それぞれの活動の課題や講演等を通して学んだことについてグループワークを行いました。

他の地域の住民や行政・医療機関の担当者や意見交換を行うことで、今後の取組みのヒントを得たり、ネットワーク作りができ、熱気に包まれた五十分間のグループワークはあっという間に終わりました。地域の事情はいろいろ違いますが、住民、医療機関、行政の三者が一体となつて工夫をしながら地域の医療問題に取り組んでいることが分りました。医療を守るのは医療

機関や行政だけの役割ではなく、住民にもできることがあるように感じました。会に参加させていただき、明日からまた頑張ろう！”と元気をもらって帰ってきました。

隠岐の島町でも、医師をはじめとする医療従事者の不足等厳しい現状にあり、一方、住民の高齢化が進み医療の需要がますます増えてくるのが予想される中、住民一人ひとりが地域の医療や自分の健康について関心を持つことがとても大切なことだと思えます。私たちは、ボランティア活動をを通して、住民の皆さんと病院との架け橋となれるようなお手伝いができればと思っています。



*次回は雲南病院ボランティアとの交流会と奥出雲病院の病院祭視察についてお知らせします。

メンバー募集中!

隠岐病院ボランティア「筈の会」では、一緒に活動して下さるメンバー募集中です!

連絡先 脇 立夫
Tel 090-7504-4109

新規職員紹介



ほり だいすけ
堀 大介
(小児科)

小児科の堀大介と申します。

出身は九州の鹿児島で平成五年島根医大卒業後、主に島根県西部の病院に勤務してきました。この間平成八年に一年間当院に勤務し、今回が十五年ぶり二回目のおきです。

こどもさんたちが笑顔になり、そしてご家族の皆様も笑顔になる、ということのお手伝いをしたいと思えます。よろしくお願ひします。

小児科 堀 大介



すなもり なな
砂森 奈々
(看護師)

こんにちは。昨年十一月から四階病棟で勤務している砂森と申します。

この度生まれ育った隠岐で働かせていただくことになり嬉しく思っています。

仕事はまだまだ不慣れで、ご迷惑をおかけすることがあるかと思ひますが、

患者様、ご家族様、病院スタッフに信頼される看護師を目指して精一杯頑張ります。宜しくお願ひ致します。

4階 砂森 奈々

● 日常生活でできる

インフルエンザ対策

インフルエンザにかからない為には、日頃から予防することが大切です。まず第一は、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことです。

また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、加湿器などを使って室内は適度な湿度（五〇〜六〇％）に保つことが有効な予防方法です。

① 栄養と休養を十分とる

体力をつけ、抵抗力を高めることで、感染しにくくなります。



② 人混みを避ける

病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。

③ 適度な温度、湿度を保つ

ウイルスは低温・低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空気中を漂っています。加湿器などで室内を適度な湿度に保ちましょう。

④ 外出後の手洗いとうがいの徹底

手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾燥を防ぎます。



あとがき

年が明けて、早くも二ヶ月が経ちました。最近では寒い日が結構続いて、寒いのが苦手な私にとっては辛い毎日です。

みなさん、インフルエンザが流行っていますので、手洗い、うがいをして、インフルエンザに負けないようしっかり予防対策をしてくださいね。

事務員 S